

自動販売機による ご支援のお願い



一般財団法人ひとり親家庭福祉協議会
ひとり親Tokyo

一般財団法人東京都ひとり親家庭福祉協議会とは (愛称：ひとり親Tokyo)

「ひとり親Tokyo」は、ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と向上のための活動を行い、福祉の向上と自立促進を図ることを目的に活動しています。

- ▶ 東京都福祉保健局からの委託事業で、母子家庭等のための生活相談、就労支援、養育費相談、面会交流支援等を実施しています。
- ▶ ひとり親家庭の交流会や親子でのイベントを開催。孤立しがちなひとり親の交流を促進し、情報へのアクセシビリティを高めています。
- ▶ 各企業様と連携して、ひとり親対象のイベントや、支援事業の周知・運営に協力しています。
- ▶ 看護師を目指す方を対象としたセミナー「看護師への道」を過去7年間実施し、看護学校合格者を輩出しています。



ひとり親家庭の現状について

- ▶ ひとり親家庭は、家計・就労・教育・子育てなど多くの面で厳しい状況におかれています。母子家庭の平均世帯就労収入は約181万円。その半数以上が非正規雇用です。母子家庭の子どもたちは、貧困につながるリスクが圧倒的に高い環境にあります。（相対的貧困率は54.6%）
- ▶ 更にひとり親家庭のお子さんは進学問題や不登校等の問題を抱えることも多く、経済的支援、就労支援に加え、貧困の連鎖を防ぐための学習支援も強く求められています。

自動販売機の設置をお願いする 背景について

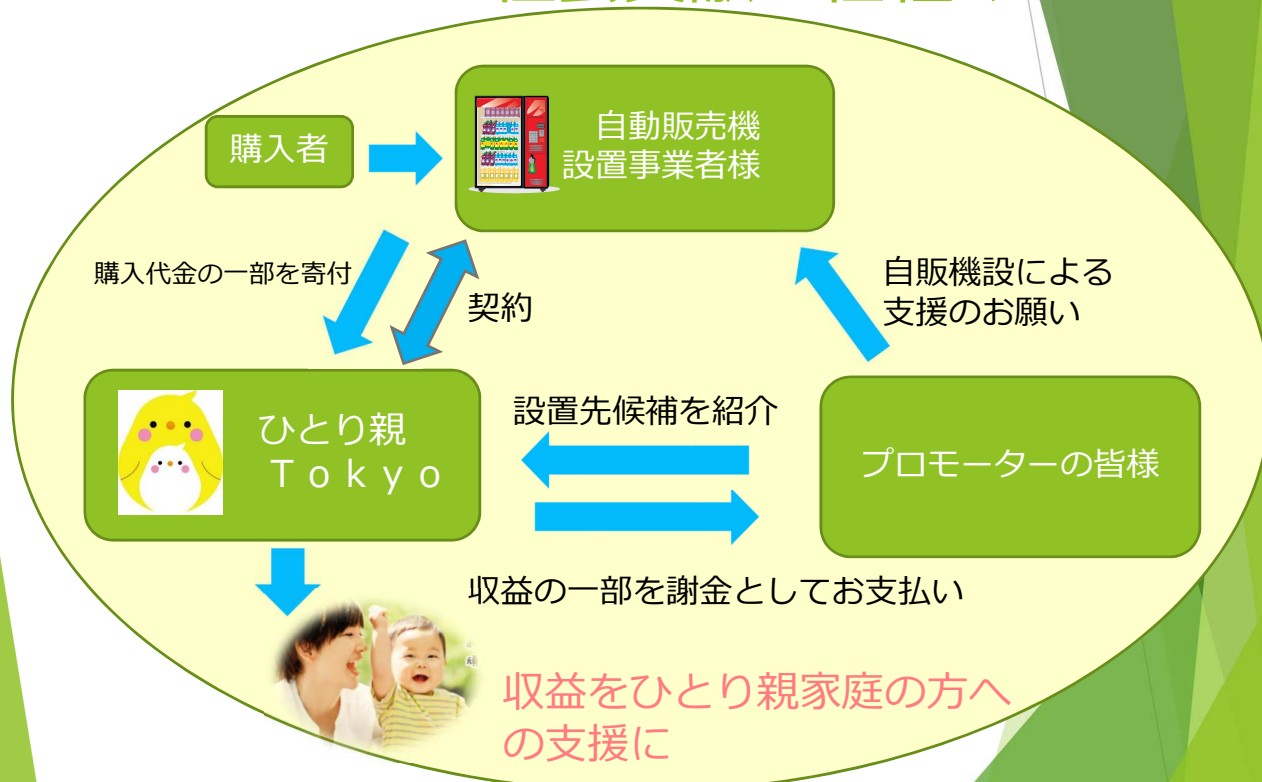
母子及び父子並び寡婦福祉法・身体障害者福祉法は、自治体等に当該団体に公共施設内の売店等（自動販売機）の運営を委託し、その活動を支援することを義務付けており、自動販売機の売り上げの一部を、福祉活動の財源として活用できる仕組みがあります。
当協議会も、その仕組みを活用し、都内自治体に対し、自動販売機設置の促進に努めてまいりました。

ところが、近年、自治体における自動販売機の設置台数が減少傾向にあるため、**資金が不足し、今後の当団体の運営に支障が出る**ことが予想されます。

そこで、事業所様や、学校、病院など、自治体以外の場所にも自動販売機の設置をお願いすることで、**当団体の活動を持続可能なもの**にしたいと願っております。

昨今、ひとり親の貧困問題がマスコミ等に大きく取り上げられ支援の声が広がっています。この機会に、**ぜひ社会貢献の一環として、売上の一部がひとり親支援の財源となる自動販売機の設置をお願いする次第です。**

自動販売機設置による 社会貢献の仕組み



自動販売機導入に際して

設置いただくことで、売上の一部がひとり親支援の財源になります。

導入のメリット

- ▶ 設置いただく自動販売機には、売上の一部がひとり親支援になることを明示しますので、社員の皆様のCSRに対する意識が向上することが期待されます。
- ▶ 当協議会HPに、自動販売機設置ご協力企業様として掲載させていただきます。

自動販売機（ベンダー）会社

（以下のベンダーから選択いただけます。）

(株)アペックス	(株)伊藤園
(株)キリンビバレッジ	コカ・コーラ・イーストジャパン(株)
サントリービバレッジサービス(株)	(株)ジャパンビバレッジ
トヨーベンディング(株)	(株)ユカ（大塚製薬）
(株)PSビバレッジ	F V ジャパン(株)

自動販売機導入に際して つづき

ご契約の流れ

1. 設置をご検討いただける場合、ご希望のベンダーを当協議会のプロモーターにお知らせください。
2. 当協議会の担当者（久保寺）がお伺いし、詳細をご説明させていただきます。いただいた上で、ご契約となります。

**ぜひ、ご協力いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。
ご不明な点は、当協議会 久保寺までお問合せください。**

Email : syueki@tobokyou.net Tel : 03-5261-1341